

平成30年度事業報告

(第35年度)

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局部的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めました。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施しました。

(1) 情報誌の発行等

ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せて緑化キャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行いました。

機関誌の発行 緑の基金 34号 平成30年9月発行 2,000部
新聞広告 県植樹祭・森林教室告知分 信濃毎日新聞 4月20日 全県版
国土緑化推進機構 広報誌(グリーンモア)の配付 年4回各820部関連団体外

イ 緑の情報サービスの推進(ホームページによる情報発信)

当基金が関わる各種行事、森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進しました。

H30 Hp新トピックス提供回数 16回

ウ 森と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、仮称「森のくまさん3」の発刊に向けて、シリーズ作者の藤岡牧夫氏と南信地域を候補地として下伊那地域の取材調査を行いました。

2 県民の集い等の開催

(1) 第69回長野県植樹祭の開催

6月2日(土)、下伊那郡売木村において、豊かな県土の基盤である森林・緑に対する県民的理解を深めるために、「第69回長野県植樹祭」(ふるさとの森づくり県民の集い)を長野県・売木村・中部森林管理局等と共催しました。(参加者 約1000人)

(2) 森林教室の開催

県植樹祭に併せて、長野県森林インストラクター会等の協力のもと一般県民参加者を募集して、春の森林教室(自然観察会)を開催し、県民が自然に触れ親しみつつ森林・林業に関する知識や理解を深めるよう努めました。(一般参加者 73人)

(3) 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

緑と水の森林ファンド事業(国土緑推)の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹などの体験型行事等を実施しました。

3 講演会の開催等

(1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設を利用して、定期的に、森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催しました。

(年間20回開催 参加者 226組 521人(子ども107人、幼児80人))

(2) 森林フォーラム

身近な里山の森林整備を推進するため、「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催して実施しました。

開催テーマ 「これからの森林経営と林業創生を考える」

～マーケティングの視点から見た林業創生と人材育成～

開催日 平成31年1月21日(月)

開催場所 安曇野市 もくりゆう館

(3) 野鳥愛護思想の啓発

小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動に対して(一社)信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成しました。

本郷小学校(富士見町) 原小学校(原村) 天龍小学校(天龍村)

木島平小学校(飯山市) 飯田西中学校(飯田市)

学校法人いいつな学園グリーンヒルズ中学校(長野市)

小学校4校、中学校2校 計6校 150,000円

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加の促進を図りました。

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で開催しました

表彰式 1月16日(水) 県庁講堂

・ふるさとの森林づくり賞

森林づくり推進の部

長野県緑の基金理事長賞

1団体：1名

森林環境教育推進の部

長野県緑の基金理事長賞

1団体：1名

・林業関係ポスター等コンクール

国土緑化・育樹運動ポスターの部

長野県緑の基金理事長賞

12名

野鳥愛護ポスターの部

長野県緑の基金理事長賞

9名

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切に作る心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工・工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会及び林業関係団体と共催で実施しました。

表彰式 12月8日(土) 長野市：長野市立博物館

長野県緑の基金理事長賞 1作品

応募作品数 4,619点 小学校 131校、中学校 2校

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に開催し、それらの習得を支援しました。

開催日 10月25日(木)

会場 県林業総合センター 南信地区小中学校教諭(20名)

(3) 学校林の整備・活用

ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成しました。

大沢みどりの少年団育成会（佐久市）、坂城小学校（坂城町）、金沢小学校（茅野市）、
米沢小学校みどりの少年団（茅野市）、西条小学校みどりの少年団（長野市）、
戸隠小学校（長野市）、永明中みどりの少年団（茅野市）、高山中学校（高山村）、
長野西高等学校中条校（長野市） 計9団体 交付額 759,956円

- イ 学校林を活用した森林環境教育促進事業（国土緑化推進機構 直接事業）
国土緑化推進機構の助成を受け、学校林活動の普及促進と森林環境育の充実が図られる
ように、学校林の整備と森林体験活動の取り組みを推進しました。
- ・平成30年度 緑の基金推薦 1団体 国土緑化推進機構決定 1団体
実施校 坂城町立坂城小学校 学有林運営委員会

- ウ 子供たちの未来の森づくり事業（国土緑化推進機構 直接事業）
国土緑化推進機構の助成を受け、小中学生の「森の学び」を支援するとともに、森林環
境教育フィールドとしての地域のシンボルとなる森づくりの取り組みを推進しました。
- ・平成30年度 応募・緑の基金推薦 3団体 国土緑化推進機構決定 2団体
 - ・平成30年度 実施決定団体
 - ①NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
事業内容 元学校林を活用した教育の森創造事業 事業助成 621 千円
 - ②NPO法人信州フォレストワーク
事業内容 僕らの裏山ランド整備事業 事業助成 320 千円
 - ・事業期間 平成30年7月1日～平成31年6月30日

5 都市緑化等の環境整備

- (1) 小中学校敷地内の緑化（国土緑化推進機構 直接事業）
国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を
推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺的环境緑化、環境教育のフィールドの
整備（樹木の植栽、樹木の手入れ、ピオトープ等）を実施しました。
- 実施校 飯田市立千栄小学校

- (2) 平成31年開催の全国都市緑化フェア実行委員会に参画しました。
- 第2回実行委員会 平成30年4月21日
第3回実行委員会 平成31年3月21日

6 その他

- (1) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集
県内の小中学校生及び一般より募集のあった作品19点の中から9点を長野県から推
薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、平成31年用に、次の2点が特選に選
ばれました。

- ・国土緑化運動標語「その手から つながる未来 広がる緑」 (高1：茨城県)
- ・育樹運動標語 「君の手で 大きく育てる 緑と未来」 (小5：栃木県)

なお、基金推薦の1点が入選しました。

つなげよう 未来の子どもに緑の輪

(団体職員：竹内美穂)

(2) 森の名手・名人の選定

(公社)国土緑化推進機構が選定する平成30年度「森の名手・名人」に長野県からは3名が選ばれ、県内の名手名人は58名となりました。

なお、この事業は、平成30年度をもって終了になりました。

氏名	市町村	部門	内容
平田 裕実	上松町	加工部門	こけら(柿)屋根板製造、 屋根葺き施工
田上 定行	上松町	加工部門	木桶製造・販売
小椋 裕喜	南木曾町	加工部門	ろくろ細工製造・販売

7 基本財産の運用益

基本財産の運用益については、受取利息収入として当初予算8,205,120円を見込んだところ、決算額は、67,808円減の8,137,312円となりました。

8 出捐金の内訳

平成30年度末

5億8,985万6,019円

(前年度よりの増加額)

0円

〈内訳〉

- ・長野県 150,000,000円(25.4%)
- ・市町村 123,000,000円(20.9%)
- ・民間 316,856,019円(53.7%)

Ⅱ 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までを「緑化推進特別強調期間」の中で、4月28日には長野駅周辺において、長野市及び周辺市の高校生18名（須坂創成、更級農業、長野西）と中部森林管理局、長野地区緑化推進委員会、長野県の協力の下に街頭募金を実施しました。

また、緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に進めました。

その結果、県内各地域から緑の募金の寄付総額は77,729,698円と目標額の8,000万円に対して97.2%の達成率でした。

この募金により、県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などをさらに進めることができました。

このほか、緑の募金による公募事業として、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援したほか、みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

また、第67回全国植樹祭に併せ整備された県民植樹会場を活用するため、県民植樹会場活用支援事業により助成しました。

1 緑の募金活動事業

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調期間」中（4月1日～5月31日）等を実施しました。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載（信毎、朝日、読売、毎日、産経、中日）
- ・ 市町村広報への掲載依頼
- ・ ラジオCM 4/1～4/14（14日間）SBCラジオ 14回
FMながの 14回
- ・ 街頭募金 4月28日
- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ
平成29年度に引き続き県議会議員にも着胸を依頼し緑の羽根を配付しました。
- ・ 長野の林業 募金広告（募金告知、ピンバッジ寄附PR外）

イ 企業等と連携した募金活動

- ・ 長野トヨペットふれあいグリーンキャンペーン 5月12日
緑化木及び職場募金の寄付 受取者 知事
- ・ （一社）長野県環境保全協会の協力を得て、会員企業約400社に募金への依頼を行いました。

ウ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施しました。

相談窓口 地域振興局林務課

診断委託先	一般社団法人日本樹木医会 長野県支部	8件	40千円
	一般社団法人長野県造園建設業協会	14件	70千円

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行いました。

(3) 募金活動の推進

(1)の緑化の啓発宣伝に併せて募金活動を推進し、4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調期間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し展開しました。

- ・ 平成30年4月2日 緑の募金初日PR、職場募金（知事他、県職場他）
- ・ 平成30年10月28日 街頭募金 長野パルセイロホームゲーム（長野市：基金他）

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が、自主的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を実施し、審査に基づき21団体に総額3,852,728円を交付しました。

なお、緑の募金により事業実施していることの掲示を求めました。

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)しました。

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に助成(交付金)しました。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の

経費を助成(交付金)しました。

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)しました。

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)しました。

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)しました。

(6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)しました。

(7) 第67回全国植樹祭県民植樹会場活用事業

第67回全国植樹祭に併せ整備された県民植樹会場を活用するため、県民植樹会場活用支援事業により支援しました。

実施緑化団体 上小、諏訪、下伊那、木曾 交付額 344,994 円
松本は対象事業が気象状況により中止になりました

4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るく育つよう、県内のみどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動について、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに、地区事業として実施する実践活動に交付金を交付しました。

なお、みどりの少年団全県交流集会を長野県及び長野県みどりの少年団連盟と共催し、8月7～8日に開催予定でしたが、猛暑による健康被害の懸念から中止といたしました。

附属明細書

事業報告の内容を補足するその他の重要な事項は、ありません。